

釜石港にジブクレーンが登場（釜石市）

～内航フィーダーコンテナ航路開設をめざして～

港湾課

釜石市の第3セクター釜石港物流振興(株)が北海道釧路市から購入したジブクレーンが9月15日に釜石港内にお目見えしました。このジブクレーンは、「ジブ（腕木）」の名のとおりコンテナを吊り上げる大きな腕木を持ち、1時間当たり18本のコンテナを荷役する能力を持っています。

釜石港では、内航フィーダーコンテナを輸送する国内定期航路の開設に向けて、釜石市が中心となって平成20年10月に第3セクター釜石港物流振興(株)を設立し、船舶にコンテナを積み降ろしするクレーンなどの荷役機械の整備を進める取組みを行っています。釜石港物流振興(株)では、これまでにコンテナをコンテナヤード内で運搬するストラドルキャリアを導入していますが、今回購入したジブクレーンは、釜石港における荷役機械の主役となるものです。

現在は、本格運用に向けて購入したジブクレーンの点検・整備を行っているほか、釜石地方振興局土木部でも耐震岸壁（-7.5m）の補強工事に取り組むなど、官民で年度内の航路開設に向けた取組みを進めています。

<ジブクレーン諸元>
 自重：350 t
 定格荷重：35.0 t
 回転半径：28.0～10.5m
 揚程：-9.5～19.5m
 荷役能力：18本/hr



内航フィーダーコンテナ輸送とは？
 国内主要港と地方港を結ぶ、外国貿易コンテナの国内2次輸送のこと。世界の各港湾とつながっている京浜地区などの港湾でコンテナを国際航路の船舶に積み替えることで、地方港でも各国との貿易取引が可能になる。フィーダーは幹線に対する支線の意味である。